

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

② 施設・事業所情報

名称：藤沢市立浜見保育園	種別：児童福祉施設(保育所)
代表者氏名：永田 久美子	定員（利用人数）： 120名
所在地：〒251-0037 藤沢市鵜沼海岸4-7-34	
TEL：0466-34-4545	ホームページ： http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 1972年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：藤沢市・藤沢市長 鈴木 恒夫	
職員数	常勤職員： 23名 非常勤職員 8名
専門職員	（専門職の名称） 名 保育補助 4名
	保育士 19名 調理業務員 2名
	看護師 3名 調理員 2名
	用務員 1(5園兼務)名 事務補助 1名
施設・設備の概要	（居室数）15 （設備等）
	クラス保育室6 ほふく室1 事務室1 職員更衣室2 休憩室1 調理室1 調理更衣・休憩室1 相談室2 用務作業室1 全館24時間空調 エアコン(各保育室)、洗濯機、乾燥機、防災用品、玄関インターホン対応、屋上園庭遊具（雲梯、鉄棒、アスレチック遊具）

③ 理念・基本方針

保育理念：生きる力の基礎を育む保育
保育方針：子ども一人一人の健やかな心身の発達を保障し生き生きと育てる
保護者と子育ての共有を図り、育ちを支える
地域に開かれた保育園として子育て家庭の支援に積極的に取り組む
保育目標①様々な欲求を適切に満たし、生命の保持及び情緒の安定を図る
②基本的な生活習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培う
③人との関わりの中で、人への愛情や信頼感そして人権を大切にする心を育てるとともに、自主、自立、協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培う
④生命、自然、社会事象についての興味や関心を育て、豊かな心情と思考力の芽生えを培う
⑤言葉への興味や関心を育て、話す、聞く、相手の話を理解しようとするなど言葉の豊かさを養う
⑥様々な実体験を通して豊かな感性や表現力を育み、想像力の芽生えを培う
⑦乳児保育においては、受容的、応答的な関わりを通して「人への基本的信頼感」を育む

④ 施設・事業所の特徴的な取組

浜見保育園は、藤沢市立鵜沼南小学校再整備事業において小学校、児童クラブとの複合施設として、令和4年3月に新園舎に移転しました。子どもたちの異年齢間の交流やそれぞれの施設の職員との連携を深め、将来を担う一人一人の子どもたちの育ちを

大切にしていくことを目指しています。

また、浜見保育園新園舎は、屋上を含めた4階建ての施設です。津波災害警戒区域に位置しているため、避難場所として災害から子どもたちの安全を守るとともに、地域住民のほか、海岸利用者等の想定避難者が確実に避難できる施設としての役割を担っています。

他施設との交流については、現在、小学校の整備がまだ途中であることやコロナ禍で積極的交流が難しい状況ですが、小学校や児童クラブと情報交換の場を設けたり、児童クラブの職員が保育園の防災訓練を見学したりなど、できることを模索しながら取り組んでいます。

新園舎では園舎の1階を利用し、限られたスペースの中ですが、用務員と相談しながらプランターでの野菜、花の栽培をして土に触れる機会を設けています。また、収穫した食材で、調理員と一緒にクッキング保育に取りくんでいます。近くには川沿いの遊歩道や公園、海があり、散歩に出かけ自然に触れる機会を設けています。新園舎での保育活動や行事の一つ一つを全職員で見直し、検討しながら子どもたちや保護者、保育士がわくわくするような保育の環境づくりに努めています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年 5月31日（契約日） ～ 2023年 3月9日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（平成27年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

特長

子どものプライバシーや人権に配慮した保育を進めている

子どものプライバシー保護に配慮した保育を目指し人権については園をあげて取り組んでおり、人権について年間目標と毎月の目標を掲げ、毎日の朝礼では「人権・今日のひとこと」や「今日のクレド」を読み上げて確認し、職員の人権に対する意識を高めている。また、LGBTsについても園として取り組んでおり、関連する記事を更衣室の前に掲示し職員の理解を促している。さらに子どもにも理解できるようわかりやすく伝える場を作っており、その様子を保護者にも伝え共通認識を持てるよう取り組んでいる。

災害時における安全確保に力を入れている

今年、新園舎で複合施設としてスタートしている中、海から近い環境でもあり、浸水や津波によるリスクも考えられている。津波浸水時の避難拠点でもあり、地域の防災拠点としての役割を担っている。安全確保や事故防止に関しては、今年度は危機管理課を招き、藤沢市の防災対策について職員研修も実施した。避難訓練は時間帯（送迎時も含む）や曜日など様々な想定のもと行われている。また小学校との合同避難訓練も行い課題を共有して、マニュアルへの反映をし実態に即した避難が実施できるよう小学校と共に取り組みを進め、子どもの安心安全な保育に繋げている。

子どもが主体的に活動し遊びが豊かになるような保育を展開している

子ども一人ひとりが違うことがあたりまえであると、常に職員間で確認し言葉にして伝え合うようにしており、差別などがないように、子どもが安心して過ごすことを第一に考え保育を行っている。興味やがんばっているところを見逃さず、のばせるような遊びの展開、行事の設定などを工夫し主体的保育に繋がるように取り組んでいる。

今後期待される点

園としての事業計画を明示し、子育てと地域貢献への取り組みが期待される

今年度より複合施設としてスタートし、避難訓練をはじめとして小学校との連携も行っている。小学校、児童クラブとの連携をさらに進めるため、事業計画として計画化することが望ましく、計画を明示することで、具体的な合意点や新たな価値を創造し子育てと地域への貢献を図ることが期待される。

新園舎の特徴をいかした使用について継続的な課題としている

4月から新園舎での生活が始まり、子どもの動きや保育士の配置、配慮など安全面の把握に力をいれ、危険箇所等の共有も進んでいる。子どもたちの生活の流れに合わせながら、立地をいかした自然との関わりを含め、新園舎の使い方について継続的な課題として取り組むことに期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の第三者評価の受審に際し、職員全員で取り組みました。お互いの意見や考えを伝え合ったり、学び合うことも多くあり、職員一人一人が保育を振り返る機会となりました。新園舎での保育には課題もありますが、その中で取り組んできた点を評価いただき、職員の励みにもつながりました。今後は、ご助言いただいた内容の改善に取り組み、複合施設として小学校や児童クラブとの連携、地域とのかかわり方、立地に合わせた自然とのかかわり等について、更に工夫ができることを話し合い、実践していきたいと思います。また事業計画についても、公立保育所全体として共有し、検討していきたいと思います。そして、子どもたちや保護者が安心できる保育園であるよう、職員一同努力していきます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり